



2019年2月7日

各 位

会社名 東芝テック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池田 隆之
 (コード番号6588 東証第1部)
 問合せ先 経営企画部 広報室長
 水野 隆司
 (TEL 03-6830-9151)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年11月7日に公表した2019年3月期通期（2018年4月1日～2019年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期の連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	500,000	18,000	15,000	8,000	145.61
今回発表予想（B）	490,000	19,000	16,000	10,000	182.01
増減額（B－A）	△10,000	1,000	1,000	2,000	
増減率（％）	△2.0	5.6	6.7	25.0	
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	513,289	24,546	22,768	17,512	318.73

（注）当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間において、米州及び欧州で売上が想定より伸び悩んだことなどから、リテールソリューション事業及びプリンティングソリューション事業ともに前回発表予想に比べて売上高が減少する見込みとなりました。

一方、損益面については、当第3四半期連結累計期間において、売上構成の改善などによりリテールソリューション事業の損益が当初の想定よりも堅調に推移したことなどから、前回発表予想に比べて営業利益及び経常利益が改善する見込みとなりました。また、営業利益及び経常利益の改善に加え、通期の税金費用が当初の想定よりも減少することなどから、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想から改善する見込みとなりました。

これらを踏まえ、通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

※ 上記の業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(補足情報)

セグメント別連結売上高の予想

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)
	百万円	百万円	百万円		百万円
リテールソリューション	308,000	303,000	△5,000	△1.6	324,499
プリンティングソリューション	204,000	199,000	△5,000	△2.5	199,971
消去	△12,000	△12,000	0	0.0	△11,181
連結売上高	500,000	490,000	△10,000	△2.0	513,289

セグメント別連結営業利益の予想

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)
	百万円	百万円	百万円		百万円
リテールソリューション	10,000	12,000	2,000	20.0	17,255
プリンティングソリューション	8,000	7,000	△1,000	△12.5	7,291
連結営業利益	18,000	19,000	1,000	5.6	24,546

期中平均レートの予想

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)
	円	円	円		円
平均レート (US \$) 円	109.75	109.89	0.14	0.1	111.21
平均レート (EUR) 円	129.76	128.68	△1.08	△0.8	129.34

(注) 今回発表予想の第4四半期為替レートはUS \$ 107円、EUR 126円です。

— 以 上 —